滿洲日報

集市 元豆價錢六吊一百至六吊
青豆價錢五吊九百文至五吊五百文
小米價錢六吊九百文至六吊二百文
紅糧價錢五吊二百文至五吊
合豆價錢四吊八百文至四吊七百文

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白平价
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫動　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番 支配人室　百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

諸鐵工製作
鑛山機械鐵工
船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街　ブリッジ商會東
川喜鐵工場

寸時を待たず營業をなし得るべし
讓渡廣告
奉天府重要市街旅館料理店
一棟數　四棟
一間數　十五室
一和洋料理諸器具
一其他附屬物一式　有姿の儘
仝附近大街路通
一棟數　一棟
一間數　七室
一洋食諸器具
一一切附屬品共　有姿の儘
右御望の諸君は左記下名迄御通報委細面談
營口元神廟街
彌生館方　二宮

三井洋行
倉庫部
●精製白砂糖新入荷物あり
啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷著
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鑑印幷一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地奏今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
總司理人　田中賴之助謹白

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜衆置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　業亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意衆賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價値格外從廉克己幷另設銀爐包營銷鏽以應急需久爲　中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛
油坊買賣元荳荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寳嶋船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

德商　瑞生洋行
啓者本行由外洋運來金山松木大小方子厚薄板片以及樓板並有道木性皆堅固貨高價廉賜顧者乞至本木廠面議
營口西街潮溝西本行主人啓

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（捷利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡　中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子眞價實以應各主顧局急之需
圖本主人啓

滿洲日報各地賣捌所
滿洲日報廣告取次所
大連市穩岐町三百三十八號　日華運輸公司
遼陽　遼陽俱樂部　谷口今朝太郎

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大道しけ子）
院主　森　矯
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

寫眞　永清
奉天府　大南門裡路西

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　事務取扱　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司
營口支店

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●
新民屯停車場前
●同支店●

隆慶公司
開設在東關門外自有碼頭悟豊木局以西南近馬路德記木局以北發售唐山大小塊碎子貨美價廉裝卸舟車極便凡賜顧者請認明招牌庶不致誤謹啓

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

各種材木
廉價大販賣
壚川商會
營口永世街二本町

和泉洋行
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

雜貨卸商
在營口元神廟街
關東公司雜貨部

田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東洋緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木
荒物
販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

日商　東來醬園
本醬園開創在營口双橋子南有年係請大日本著名工師自造日本醬油所造醬物料專選上等麥豆疊經沙漏之水寒熱適度加意製出故其色麗質淨味美氣芳可以供上等烹飪之用其價値甚廉非尋常市油所得而及蓋用市造之油烹物之費多而鹽梅之効少若用此油則醬味調和必請不特于衛生之道受益不少兼爲厚生利用之妙品也賜顧紳商請嘗試之立知本醬園所言非務張之談矣
本園主人謹白

代理
道勝銀行
啓者本行代理道勝銀行匯兌以及押款借款等項格外公道如蒙賜顧請移玉本行帳房面議可也
德商　瑞記洋行代理人謹啓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料　一ヶ月以內　一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

東京電報

（一月十五日特別通信員發）

●清國學生の就業光景 過日清國公使館に於て復校を協定せる兩派歸國派復校派の學生は愈ゝ本日より就業せり然れども旅行中又は學資を費消せる者多く登校者は各校とも三分一若しくは四分一に過ぎず

●寺内陸相辭職の決意 陸軍大臣寺内正毅氏は滿韓鐵道守備に關する一切の施設完成を俟ち五月頃辭職すべし決意到底動かす可らざるが如し

倫敦電報

●前首相バ氏の落選 前首相バルフオア氏マンチエスターの選擧區に於て自由黨候補者ハリツジ氏の六千四百〇三票に對する四千四百二十三票の少數を以て落選せり

●倫敦の感動とバ氏 此報の倫敦に達するや非常の感動を惹起せり バルフオア氏はエクルスに於て安全なる議席を得へしと信せらる

●自由黨の勝利確信 統一黨倶樂部は自由黨の優勢なることを認め自黨の大敗を豫期しつゝあり、統一黨中有力なる候補者も不安の念を生ずるに至れり之れに反して自由黨幹部は大喜悦にて大多數の勝利を確信す

（一月十五日發）

雜報

●國民の經濟的發達力 昨年九月日露講和條約の成立してより以來既に五たび月を越え一たび歳を改めたれは今日乃ち日露大戰爭の經濟界に及ぼすへきものは悉く實現し來れる筈なれとも我商工業は極めて適良我金融界は極めて平靜にして殆と二十個月に渉る大戰爭を經過し來れるもの丶如き痕跡をも留めさるは何ぞや我國民の經濟的發達力の極めて旺盛にして如何なる機會にも堪へ得て屈撓せさるに由る日露の講和は不幸にして一部經濟的狀況の爲めに之を急かさる可らさる形ありしと雖も之を急きたるか爲めに今日あるを致せる所以にして若し休養十年再ひ活動を開始せは其勢や蓋し當る可らさるものあらんかとは某實業家の談なり

●露淸の交涉 外務部は露國公使に對し談判期日を早く決定すへき事及び談判地は露國に非す北京に於て開始すべき事を照會せしか露國公使は之に對し日本の全權委員と同しく露國の全權委員派遣の費用は淸國の負擔たるへしと通知し來れりと云ふ

●海軍の大紀念日 五月二十八日は日本海々戰の當日にして敵艦を殲滅せしのみならす敵將を生擒し戰艦を捕獲し我海軍には一大紀念日たるを以て黄海々戰の紀念會と同しく毎年五月二十八日には盛なる紀念會を開くことに定めたりと云ふ

●哈爾賓の露軍 黑龍江將軍より外務部へ達したる電報に依れは目下露軍は哈爾賓一帶の地方に集合し日々暴行至らさるなく各市街の商民を脅迫して家財を强取する等頗る危險にして商民の迷惑一方ならさるを以て此際速かに撤退するやう在京露公使に照會ありたしとあり外務部にては此旨直ちに露公使へ照會を發したりと云ふ

●ロ提督の談と英國 ロツゼストヴエンスキイの督提起草せる日本海海戰に關する論文中英國に言及せる不穩の言辭ありしとは既報の如くなるが英國は此言辭に對し遂に露國に向ひ說明を要求するとと爲れるか頃日ロ提督は書をノーヴオエウレーミヤに寄せて英國艦隊に關する項は畢竟ロツゼストヴエンスキイ一個の意見に過ぎさる旨を辨解せりといふ

●駐日露國公使 露國かバルカン半島に駐在せるバクメチエフ氏を駐日公使に任命せるとは本紙の既に記載せる所なるか近時露國新聞ノーウオエウレーミヤは右に關し最も痛刻なる評言を爲し今日大事の秋に當りバクメチエフの輩を拉して東京駐紮公使と爲せるの非を難し之をしてミユンヘン墨西哥若しくば巴剌西爾の公使たらしめは則ち或は適任たらんかと痛く政府の措置を攻擊したりと

●智氏と日本の愛國心 我國家今日の隆運は其因る所極めて多かるへきも國民愛國心の旺盛實に刻下の大發展大膨脹を致さしめたると固より言ふ迄も無し左れは此次英國名士チエンバーレン氏はダービ市に於ける演說に於て盛に日本人の愛國心を稱揚し日本今日の進運の偶爾ならさるを絮說し最後乃ち聽衆に諭ふに英人の亦必す日人に倣はんとを以てせるに滿場崩れん許りの拍手喝采を以て氏の演說を歡迎したりといふ新進の邦國亦以て榮とするに足らん

●三笠の排水設備 三笠艦引揚に就ては其後引續き監督官以下の熱心なる作業の結果工事大に進捗し此程に至り火藥庫側に於て爆發箇處を發見せしに就き不日該處に防水工事を爲し本月十六七日頃より排水に着手する筈なりと

●練習艦隊遠航期 目下鹿兒島に回航中なる練習艦隊は十六七日頃東京灣に回航し同所に於て滿洲行に關する總ての準備食品等を調へ二月初旬出發滿洲に航し本年七月歸朝する豫定の由なるか右にて候補生第一期の練習を終へ夫れより各艦に分屬して第二期の練習を爲す都合なりと云ふ

●鐵道國有の調査 遞信省部内に於ける鐵道國有に關する下調査は昨今大に進捗したるやにて其買收線及び其方法等に就ては未た聞くを得さるか兎に角何時法案とするも差支無き丈けの材料整頓せりといふ

●滿洲馬賊の討伐 滿洲馬賊の頭目張某は義和團の亂後露國に投し露國木材會社の監護者となり日露戰爭開始後は戰線に出て丶軍務に服し數回我軍の爲め擊破せられ退却して其黨與と掠奪を事とし大に富有の身となりたれは其金錢を以て田園土地を購入し露軍所屬の馬賊を悉く其配下に從へたり其後平和克復となり露兵は北方に撤退し張一族の住居する地なきを以て露軍より嘗て領受したる銃器を返納せす之を携へて法庫門附近に集合し其地方を全然押領したれは趙將軍は步兵二聯隊を以て之を討伐せしめたるに克く之を擊破し賊を壓倒して其一部將を虜にしたりと云ふ

●烏港の近狀 去月三十一日同港發船歸來者の談に曰く烏港の秩序は未た全く整頓せす露曆のクリスマスには暴動起らんとて人心洶々たり▲不平軍人に對する警戒は周到なるか過日假裝巡洋艦一艘入港して軍隊を搭載し一千五百人許をオデツサに送る筈なり▲去二十六日日本人の遭難以來邦人の馬賊に對する警戒嚴重を加へ是れ迄郵船會社支店內に住める多數の者は建築堅固なる貿易事務館に引移れり此馬賊は露軍か戰爭中使用せるもの丶解雇せられたるに由る▲烏港より哈爾賓其他へ汽車旅行するものけ軍人と雖も更に手荷物の携帶を許さす▲昨今寒氣大に加はり卅一日零下廿一度に下り港務部に一隻の碎氷船を出して碎氷し居れり▲右の始末にて日本人の新年祝賀は何等の企なかりき云々

●鹿島香取回航員出發期 英國に於て建造の鹿島香取回航委員將校二十名下士以下六百名は來二十二日頃神戶出港の伊豫丸にて英國へ向ふ筈なりと

●松永中將の重患 三日鐵嶺出發せる第三師團長松永中將は凱旋の途中腸窒扶斯に罹り奉天病院に入り治療中なるが昨今容體重く體溫三十九度三脈膊百二十食事一日牛乳三百グラスとの報ありたり

●統監府長官等赴任期 鶴原統監府總務長官、木內同農商務總長、岡同警務總長、金山、兒玉兩書記官等は本月下旬を以て赴任の途に上るべしと

●最急行車運轉期 作業局にて計畫中なる神戶新橋間十三時間半の最急直行列車の運轉は來る四月一日より實施する筈なりと

●首相大使に太刀を贈る 桂首相は英國大使マグドナルド氏の大使陞進を祝する爲め去る五日太刀一口及び黑檀製の太刀懸を寄贈せられたり

●伊藤統監の近什 奉亂候新年の詩左の如し

元旦　春畝

方逢六十六回春　王業彙年又一新
一視同仁垂皇恩　草將恩露洽官民

鐵嶺通信

一月十二日　筆山生

▲鐵嶺居住營業者 の第一回認可四十餘名の職業別は既に本紙所載の如くなるか其後當地の秩序整頓完了せる爲め續々認可者を增し今日にては既に八十餘軒の多きに及び各營業者は夫々家屋を借入れ設備竣るを告くるもの多く宿屋料理飲食店の如き開業せるもの既に三十軒に達せんとし稍や營業の體を備ふるに至れるに肝心の機關たる女人移入の一條は今日に至るも猶未た認容せられさるを以て去日同業者十七名は袂を連ねて軍政署に出頭し川崎長官に對して

▲女人解禁 の哀訴嘆願に及へり其理由なりと云ふを聞に彼等は全く凱旋軍人を目的に此種の營業を目論見しものにて奉天同樣開放後直ちに女群の就業を認可せらるゝものとなし相爭ふて出願し在住の認可を得ると共に家屋を借入れ營業に着手し殆んど已か財嚢を傾注し盡したるか就中旅館料理店の如きに至つては嘗て一人の投客を迎へたるなく空しく日を經る玆に二十余日內外に及ひ且つ

▲凱旋軍隊の輸送 は豫定以上に進涉し二月過に至らは當地は最早空虛とならんといふに在り斯くては同業者に取り由々敷大事にして此儘座食せは家賃營繕費を併せて全員の非運に沈淪するの息むなきに至らんかと遂に軍政署に哀願に及ひたる次第なるか軍憲は彼等に向つて大なる同情を以て臨まれ居れると雖も軍事に伴ふ必要上より猶は制限解放の期の今日なるや數日內なるや將た半月半歲の後なるやを明示すへき限りにあらすとし其意を諒せしめ引取らしめし由にて同業者の失望さこそと察せらるゝなり

▲露軍撤退 昌圖の前面一帶に滯陣して久しく動かさりし露軍は數日前來稍や運動を起し公主嶺より長春に向ひ引上けつゝあり一日數回の列車は各種兵の充滿せるを見其軍人は嘻々として北往せりと北地來人は報せり

●南滿洲鑛產の豐富 此程或用務を帶び賽馬集、城廠、懷仁縣等の地を旅行せし某氏の談に據れは凡そ此地方は軍隊の外普通人の足跡稀れにして如何なる利源の伏在するやは一般に知られさりしが今回始めて其實地を見聞し鑛物の豐富なるに一驚を喫したり其主要なるものは金、銀、銅、鐵、砂金、石炭等にして殊に賽馬集方面の石炭の夥しさは未た曾て見さる所なり而して此附近には鐵鑛をも產出するか故に賽馬集には二個所の製鐵所さへ設けられたり唯た交通不便の爲めに即今俄に事業を起し難き事情あれとも一度我邦人の手を以て經營するを得るに至らは非常の收益を見るに至るへし此方面の石炭は大抵無烟乃至半無烟にして質極めて佳良なるか如く見受けられたり云々

●柳樹屯歸客談 凱旋軍隊輸送基點として交通の衝路に當れる柳樹屯歸來者の談に依れは同地には目下邦人の居住營業する者二百六十餘人あり內百三十八人即ち半數は女子にして其營業は二三の雜貨店を除けは餘は悉く料理店なり最初凱旋軍隊を宛込みて開業せしも大連と同しく兵士の外出を全然禁止しあるが爲め客足少く豫想と大相違して各樓主とも大凹みの體ありたとへ外觀の繁昌にせよ營口の如く交通杜絕して袋の底の如き狀態に在るに拘らす絲竹管絃の聲の常に沸くか如くなるは遼東半島何れに行くも多く見さる所の現象なりとす目下柳樹屯に存在する主要の官衙は兵站司令部、碇泊場司令部、滿洲倉庫支庫及び防疫部の四なり云々

●安東縣の輕便鐵道 安東縣にては棧濟公司の事業として新義州波止場より大和町に至る距離約一里半に輕便人車鐵道を創設し昨年十一月中旬より營業を開始し居れるが是れ即ち滿洲に於ける最初の市街鐵道にして三十七年は居留民僅に八百五十人なりしが一年を隔て丶人口四千を算し街鐵をさへ運轉するに至れる安東縣の發達や眞に驚くへしと爲す

●萬國演說會 牧師ウエブスター潘玉田葉亮卿諸氏の主唱を以て組織せられたる萬國演說會は昨日午後三時西營口火神廟內に於て第一回演說會を開けり出席者は日本人與倉長官岡部藤野二通譯外二名外人側は米國領事サンモンス及ベンジチル、ウエブスター、ブツシユ、フアマー、等十有餘名淸國人側は奎陸忠駿孺厚潘玉田葉亮卿朱慶章姜超恒韓濂卿等三十餘名司會者ウエブスター氏は開會を告け與倉會長を壇上に導けり會長は藤野氏の通譯にて大要左の如き演說を試みられたり『余は本會の會長に推薦せられたるを光榮とす牧師ウエブスター潘葉諸氏の主唱を以て組織せられたる萬國演說會は啻に營口開發の爲め必要なるのみならす滿洲開發の爲め多大の效力あるを信す顧て二十七八年戰役後に於ける營口の發達を看んか何人もその異常なる進步に驚かさるものなからん此十年間の比例を以て進步せんか這次の大戰役後に於ける營口や蓋し想像するに難からす諸君の企畫は斯る大發展に處するの準備なり豈に賀せさる可けんや願くば此會を盛大にし小にしては營口の指導者となり大にしては滿洲の先覺者となり以て偉大なる效果を顯されんとを余や乏を本會々長に受く希くば共に本會に盡力して益々盛んならしめんことを云々』夫れより司會者の指名を以てバンジチル、サンモンス領事、奎副會長忠駿潘玉田葉亮卿ブツシユ諸氏は交々起つて所思を述へ終りに司會者ウエブスター氏の流暢なる支那語演說ありて當日の萬國演說會を閉ち與倉長官はサンモンス氏と馬車に同乘し其外の會員各自歸途に就けり時に午後五時十分

●日本人會評議員の新年宴會 與倉長官瀨川領事の慰勞を兼ねたる新年宴會は一昨夜六時より第三樓に於て開催賓客たる與倉瀨川の兩氏を始め評議員諸氏二十有餘名の參會者あり幹事伊藤氏の挨拶ありて酒宴に移り與倉長官は紅園粉陳の裡六ケ敷談話は後日に讓るとて一場の眞摯なる談話を試みられ了つて艷麗なる第三踊りの開始となり一座歡聲湧くが如く演說を試る人あり淨琉璃を唸る人あり端唄に獨々逸詩吟に劍舞なぞの隱し藝を持出す人ありて中々の盛會なりき

●滿洲內地旅行者の注意（婦人） 近來各地の開放に連れ滿洲內地に旅行又は居住營業する者頓に增加し軍政署居留民係は移住取扱に忙殺されつゝあるは吾人の熟知する所なるが其數實に日々三四十名の多きに達し就中婦人最も多く爲に牛家屯よりの便乘者も自然夥しくマゴツク者は到底其日の列車に便乘する事を得ず爲に止むを得ず貨車に飛込み支那人と乘り合せ燈火なき暗黑の下に種々なる珍事出來せると尠からず現に或る人の咄に依れば頃日某日本婦人は大石橋より乘替の滊車に便乘せし所其貨車には淸人のみにて日本人としては其婦人一名にて滊車進行中大勢の淸人に取圍まれ獸慾を遂げられたりと云ふ其信僞の如何は知る所にあらされども或はかゝる事無きにしもあらず充分注意すべき事なり

●軍票騰貴と日本煙草値下 近來軍票公定相場騰貴したれは代々木商會は其一手販賣に係るロングライフ、リリ、チエリ、スター等の卷烟草を値下けするに至れり時機に投せる公平なる措置と云ふべく尙烟草のみならず酒類雜貨も相當に値下けするもの續出せんことを望むとなり

●慈善市協議會 愛國婦人會牛莊委員部々長瀨川領事夫人以下各姉妹が慈善市開催に就て熱心盡力中なる事は屢ゝ報道する所なるが愈々近々の內開催する事となり昨日午後二時より領事館內に於て其協議會を開き日時及び各係員等決定したる由其詳細は次號の紙上に揭載すべし

●鎧氏の來營 奉天差委隸候補道鎧鍊氏は當營口視察旁々他に要用を帶び昨日午前來營せるを以て與倉長官は昨夕氏を招き晩餐の饗應をなせりと云ふ

●平田內海兩憲兵の凱旋 陸軍憲兵曹長平田喜代三同軍曹內海章太郎の兩氏は當軍政部開廳間もなく來任し爾來數閱月間晝夜熱心に事務に鞅掌せられたるは大に在留邦人の感謝する所なるが兩氏共今度期滿ち愈々兩三日中に凱旋歸朝せらるると云ふ

●謠曲會 來る二十一日（日曜日）斯道諸流の天狗連相會し日本館に於て素謠大會を開催する由會費は五十錢にして何人にても參會するを得へく尙來會者の希望に任せ番組の變更增減をなすとのこと而して番組は高砂、田村、湯谷、弱法師、羽衣にて外に獨吟仕舞もある由

●旅館料理店の總會 明十八日午後二時より第三樓に於て組合總會を開催する由當度の總會は例の藝妓線香代に就き其筋より訓示ある趣きにて旁々正副取締以下評議員の滿期改選等の總會なりと云ふ

●拾得物一束 軍人用第二種帽一個、防塞外套帶一筋、茶色中折帽一個、男頸卷一ツ、女肩掛二ツ、銀側懷中時計一個、鎖付及びメタル星形にて國民中學會とあり、鍵五個、袋入實印一個、右の物品何れも拾得者より軍政署へ屆出ある由にて心當りの人は同署警務課に就き願出づべしと

詠輜重輸卒　黃山

絕域從軍茹萬辛　干戈不執氣空振
眼昏頭重炎蒸夜　指墜耳虧氷雪晨
耿々常懷日星志　營々豈怨馬牛身
如今底事麟臺上　無後殊勳錄若人

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開點 午分	到點 午分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開點 午分	到點 午分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間 下り列車

驛名	發着	時刻
大連	發午前	九、〇〇
遼陽	着午後三、五〇	發四、五五
大石橋	着一〇、三二	發一一、三五
金州	着翌前二、二〇	發三、一〇

上り列車

大連旅順營口線 下り列車

驛名	發着	時刻
旅順	發午後	一二、〇三
大連	着	五、三二

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●鐵嶺商品陳列館規則

第一章 總則

第一條 本館は日清兩國の貿易を進捗せしむる目的を以て設立し日清兩國の商品を陳列す
但當分の內見本品のみを陳列す

第二條 本館は鐵嶺軍政署之を管理す

第二章 職員及擔當

第三條 本館には左の職員を置き當分の內軍政官及署員を以て之に充つ
總裁一名 監督一名 事務員若干名

第四條 本館の事務を整理する爲め左の分課をなす
庶務課 飜譯通信往復交渉等の事務
出品課 陳列保管說明等の事
會計課 出納に關する一切の事務

第三章 出品

第五條 本館に出品希望の者は別紙雛形に準し出品目錄に出品說明書を添へ申込むへし
但出品者か共同又は各種の組合なる場合には其代表者を明記すへし

第六條 出品物の到着迄に要する諸費は出品者の負擔とす

第七條 出品の陳列方法及出品の說明等は本館適宜に之を行ふ

第八條 本館は相當の方法を以て陳列保管をなすと雖とも出品輸送中に生せし損害は勿論其後生したる損害の責に任せす

第九條 出品者は出品物の價格變動の場合には直に其旨を通知し訂正するを要す

第四章 出品陳列費及手數料

第十條 本館は當分の內其取扱手數料並に陳列料を徵收せす
但陳列に付格別の希望を申出づる者に對しては之に要する實費を請求することあるへし

第五章 出品の輸送

第十一條 出品物の荷作は充分堅牢にして破損せさる樣注意すへし

第十二條 出品物を裝入せる箱の表面には必らす本館に宛てたる文字を記載し第六章の陳列部別に從ひ其部名並に出品者の住所氏名を記明するを要す

第十三條 出品を發送せし時は出品入記目錄一通に函數を記したる案內書を郵送すへし

第十四條 本館は出品物到着收領の上は直に出品者に其の旨報告すへし

第六章 陳列

第十五條 本館は左の部別に依り出品物を陳列す
第一部 農產及副製品
第二部 食料品及飲料
第三部 山林及水產品
第四部 鑛物
第五部 化學工藝品
第六部 工藝品
第七部 織物及糸物
第八部 機械

第七章 附則

第十六條 本則は當分之を準用し追て詳細の規則を設くへし

第十七條 本館は當分の內商品見本のみを陳列すと雖も當業者特別の依賴によりては賣品の陳列を許可し且賣買紹介の勞を執ることあるへし

●日清實業協會々則

第一條 本會を日清實業協會と稱し營口在住の日清兩國實業家を以て組織す

第二條 本會の目的は日清兩國實業の發達を計り利權を保護し之に必要なる調査を遂げ報告を集め弊害を芟除し困憊を救助し斯道を釋ねて通信往復の勞を取り實行し得へき規矩を作り商取引を容易にし以て兩國實業家連絡に便し爭議起りたるときは仲裁の依賴に應して融和を計るにあり

第三條 本會の會員を左の三種に分つ
(1) 會員 (2) 名譽會員 (3) 客員

第四條 本會會員は日清兩國の實業に從事し又は利害關係を有する兩國の會社銀行又は個人にして第七條の規定に遵ひ入會する者に限る

第五條 名譽會員は本會の目的を達するに有力なる援力を與ふる人にして總會の決議を以て之を推薦す

第六條 客員は本會の目的を贊し本會の發達に盡力する人にして委員會の決議を以て之を定む

第七條 本會々員たらんとする者は會員一名の紹介及會員一名の贊成を得て申込むべし

第八條 本會の事務並に會計を處理する爲め總會に於て日清兩國より各々四名の委員を選擧す
委員の年期は一ヶ年とす

第九條 委員は委員中より正副會長を互選し正副會長不在の節は委員中の年長者を以て假會長となす

第十條 會長は本會の事務幷に會計を統理し外に對して本會を代表す

第十一條 副會長は會長事故若くは不在の節會長に代はるものとす

第十二條 本會に書記若干名を置く
書記は委員會の協贊を經て會長之を任命す
書記は會長の指揮に隨ひ本會の庶務を整理し會計を掌るものとす

第十三條 諸仕拂は會長の捺印したる差圖書に依り之を爲すべく會計報告は會員一名正當なる監査を爲したる後總會に提供すべし

第十四條 本會は毎月一回集會し日清兩國の親睦を厚ふし講談會を開き會務を議す
委員會は會長に於て必要と認めたる時隨時之を開くものとす

第十五條 委員選擧は毎年一回之を執行す
會計及庶務報告は毎年二回之を爲す

第十六條 會の目的を阻害し若くは本會々員たるの體面を汚したる時は全會員に通知し月次會に於て出席會員三分の二以上の贊成を以て之を除名すへし
毎月二十日迄に納入すへきものとす

第十七條 本會々員は會費として毎月銀七圓を

第十八條 本會々則は出席會員の多數決に依り增補修正することを得
但し豫め斯る增補修正を要する通知を爲すへし

第十九條 本會の目的を實行するに必要なる細則は委員に於て之を作成す

東西叢話

▲米國人の强情　米國人の强情なることは世人の知る所なるが同國の某小學校に於て教師一生徒に向て最初の人間は誰れなりしぞと問ひけるに生徒答へて曰く華盛頓なりと、教師曰く否、アダムなりと、生徒曰く若し外國人をも合算とせば然りと

▲小兒の即答　巴黎の小學校に於て試驗の時教員一生徒に問ふて汝は拿翁一世が斯くも深く英國人を憎惡したるの故を知るかと云ひしに生徒即答して曰く英國人が拿翁をヘレナ島に餓死せしめたるに依る

▲獨乙の三ビ要素　獨逸皇帝維廉曾て英國に遊びたる時ランスダウン伯に謂て曰く獨乙の勢威と富强は三箇の要素にて作られたりビーフ（牛肉）とビールとビスマークなりと

▲世界最古の大學　世界最古の大學は西班牙のアラゴニアに在るものなり、同校は西歷紀元前八十年に羅馬皇帝の代官セルトリウスの建設したるものにして有名なるクウヰンテリアン、セチカ、ルーカン及び其他の哲學者は同校より輩出したりと云ふ

廣告

素謠大會

一會場　日本館
一會費　茶菓料五十錢
一時日　本月二十一日零時
右諸流聯合素謠大會相開き候間御同好の諸君は御來會を乞ふ
本會に付御問合を要せらるゝ御方は關東公司又は盛進商行へ御問合可被下候
一月十六日　發起人

●報恩講法要執行

說教　十五日十六日兩日間毎日午後一時及七時（營口時間）
信徒の御方々へ一々御案內狀可差上筈の處紙上にて御案內申上候間御繰合御參詣被成下度候也
一月十四日　永世街　矢野洋行向側
營口本願寺出張所

山口縣人親睦會

來る一月廿一日午後正二時（日本時計）第二回親睦會を西北街高砂に於て開催致候間同縣人諸君御誘引御出席あらんことを乞ふ
尙御出席の諸彥は來る廿日迄に高砂へ御通知被下度候
一當日正二時一同寫眞撮影候に付無遲刻御來會の事
一會費銀五圓御持參の事
山口縣同志會幹事

移轉並ニ別嬪新來披露

弊樓儀諸彥の御引立に預り日增に繁榮に向い候段難有奉謝候從て是迄の處にては手せまに御座候間今般西の辻西へ入る元小錦樓跡へ引遷是迄通り營業仕り候間何卒舊に倍し新來別嬪とも併て御引立あらんことを願上候
營口永世街平野町
御手がる會席御料理並に鋤燒　都樓主謹白
御花客樣

慶樂溫泉

清水滾々湧出
永世街一力南側

藝妓仲居新來御披露

此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
營口　高砂ホテル
高砂（電話一四五）

特別室落成披露

座敷は凡て日本式取扱至極鄭重に可仕候間陸續御來宿あらんことを伏て奉希上候
金城ホテル旅館部

藝妓仲居　新來披露
今回藝妓酌婦無類の別嬪數十名件れ參り候間不相變御引立の程奉願上候
但し凡て純粹の江戶つ子
金城館料理部

軍隊用雜貨　日用品雜貨　吳服太物類　化粧品類　陶器類　食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街百七十號（第二市場東東）
石原商店

雜貨　醬油　味噌　清酒
營口西北街
阪神組

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町　日本館本店
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店（電話百三十番）
各位樣

特別廣告

一月十二日營口旅館料理屋組合總會に於て協議の結果左の通り決議す
一藝妓線香代　一時間銀貳圓四拾錢
但一月二十日より實行す
右之通り改正致候に付組合員に於ては誠實叮嚀を旨とし各店異動なく一定の價格を可申受候に付舊來に倍し御引立の榮を賜らんことを伏て奉願上候依て此段及謹告候也
一月十三日
組合　正取締　谷口今朝太郎　副取締　粕谷忠兵衛

營口　御會席料理
南隣慶樂溫泉
營口永世街
一力
堀万助

御旅館兼待合所
並にうどん、そば
今般大々的勉强を以て右營業仕候間御乘降の都度御休泊被下度奉希候
牛家屯停車場前　若松家
各位樣

料理　鋤燒
花樂亭
營口元神廟街　亭主元權

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館
東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）
即席和洋料理　西洋料理仕出し御需應にず
東京樓支店（電話四十四番）

會席料理
三日月
營口警務課前南へ入る

北京　東單牌樓大街路西
扶桑旅館
客室清潔料理鮮新

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ゟ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

謹賀新年

博文館營口代理店

書籍、銘茶　賣薬、雜貨商

大坂屋

今般永世街通平野町筋へ轉居し一層安價に販賣致候間舊に倍し御用命の程奉願上候

浅田飴

あさだあめ

本家　日本東京神田鍛冶町　堀内大薬房

肺痨痰喘氣急傷風痰嗽小兒風疾病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特薬◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋薬

特約大販賣　營口永世街　東瀛大薬房

滿洲大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店へ御來店アリタシ

遼陽停車場前　池上出張店

奉天　池上出張店

發賣　標子木板料木

營口青堆子

清水寧木局

澤亀の醇良にして風味高尚なり

並ニ
札幌ビール　朝日ビール
政府専賣口付紙卷煙　朝日　大和
酢　醤油　瓶詰樽詰
菓子　罐詰色々
洋酒類　取次販賣

釀造發賣元

大阪府堺市九間町　本店
北海道小樽湊町　小樽支店
臺灣臺北街書院　臺北支店
臺灣基隆街石牌　基隆支店
臺灣臺南街下南河　臺南支店
北海道函館區辨天町　函館出張店
清國遼陽城内西街　遼陽出張店
清國大連監部　大連出張店
清國牛莊營東營口　營口支店

宅合名會社

酒保品　諸雜貨　御商

神崎洋行

營口永世街甲百廿七號警務課前

◀其ノ外新荷着種々安價大勉强▶

倉庫業

倉庫位置

郵船會社碼頭ヨリ西二丁余商船會社碼頭筋向イ河岸ヘ半町ニシテ馬車ニ陸場ゲ便最適當ナル位置

營口綏定門街（公和窰）院内

新玉號倉庫部

（電話一五七號）

正札　特別廉價

雜貨

賣出し

一婦人髪道具一切及化粧品色々
一防寒シャツ手袋類
一靴下帽子類
一罐詰及履物
一小間物一切
一賣薬色々

質屋

永世街森病院隣

和清洋行

志田ます

SPECIAL LIGHT

(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり

スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり

スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元　大阪朝日麥酒株式會社

營口發賣　關東公司雜貨部

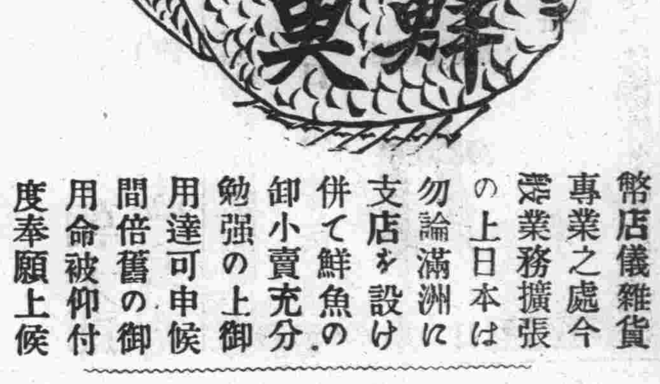
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

（電話百三十五番）



弊店儀雜貨専業之處今般業務擴張の上日本は勿論滿洲に支店を設け併て鮮魚の御小賣充分勉强の上御用達可申候間倍舊の御用命被仰付度奉願上候　敬具

營口南永世街百廿七號　森屋洋行

大連大山通り二丁目　仝支店

遼陽西門外　代理店　林洋行

奉天小西門外　代理店　米田洋行

御徳用品　新荷着急告

○食料罐詰○
○塩魚干魚鰹節○
○乾物々々○
○亀甲万印醤油○
○赤白味噌○
○菓子類数種○
○銘茶各種○

營口永世街警務課前南へ

林屋洋行

御旅館

奉天

茂林館

小西邊門内路北

日本物品依托賣買幷ニ滿洲各産物毛皮類ノ求ニ應ズ

追テ

家屋宏壯接待優遇

時刻

山海關至北京	上八、〇〇　下六、四五
天津至北京	上一二、〇〇　下五、二〇
塘沽至北京	上六、〇一　下一二、〇六
唐山至天津	上六、〇二　下一一、二八
溝邦子至新民屯	上一〇、〇〇　下六、五七
山海關至營口	上七、〇五　下四、五五
唐山至山海關	上六、〇〇　上一一、五八
天津至山海關	上六、二五　下一六、二一
天津至唐山	上一一、四二　下五、一七

大石橋上り列車　營口發午後一二、三七　大石橋着翌前一二、五〇　遼陽着午後六、二三　發七、二〇　奉天着午後一二、〇六　奉天着午前一一、〇〇

大連旅順間下り列車　驛名　發着時刻　大連發午前七、三〇　旅順着一〇、四九

營口大石橋上り列車　營口發午後一〇、二五　大石橋着翌前一二、二〇

豫報

昨日の氣温　最高温度二十九度三　最低温度十一度七

宮門抄

十八日　工部　鴻臚寺值日　志公假滿請　安　陳璧由　西陵回京請　安　孫中堂等同鄉官謝　恩　敬中堂崇中堂專摺謝賞神肉　恩　補貝子續假二十日賞假十日

召見軍機

十九日　內務府值日　慶王等得賞書籍謝　恩　李綾藻等同鄉官謝　恩奎順續假五日　掌儀司奏二十五日二十九日祭　奉先殿　倫貝子振貝子行禮

召見軍機　那中堂

上諭恭錄

十八日奉

上諭練兵處奏請派貴胄學堂總辦以專責成一摺分省補用道馮國璋着賞給副都統銜派充貴胄學堂總辦欽此

上諭陝甘固原提督着張行志補授欽此

上諭前據錫恆兩次奏參瑞洵景善等婪贓舞弊各欵當經諭令連魁確查茲據查明覆奏景善供出各情瑞洵縱容家丁營私通賄又復捏報添兵均有實據該大臣身膺邊寄應如何整躬率屬乃竟營私舞弊胆大妄爲實屬辜恩溺職瑞洵業經因案發往軍台着溥頲派員押解來京交刑部嚴訊將各欵勒限如數追出按律治罪章京景𣶏阿附通賄前經革職着連魁拿解來京歸案訊追家丁呂明義翟廣俊詐贓索賄着步軍統領順天府察哈爾都統嚴拿務獲送部一併治罪餘着照所議辦理該衙門知道欽此

十九日奉

上諭甘肅西寧鎮總兵員缺着馬進祥調補李永芳着補授四川川北鎮總兵欽此

上諭山東兗沂曹濟道員缺着胡建樞補授欽此

上諭山東濟南府知府員缺緊要着該撫于通省知府內揀員調補所遺員缺着玉構補授欽此

上諭湖北武昌府知府員缺緊要着該督于通省知府內揀員調補所遺員缺着張履春補授欽此

奏議

學務大臣奏請建設分科大學並請調員監工片

再本年七月十五日大學堂總監督張亨嘉奏京師分科大學亟應擇地建置一摺並片奏請　旨飭下臣等派員勘地均奉　旨學務大臣議奏欽此原奏內稱京師既設預備科各省高等學堂亦經開辦一二年後畢業之優等生均升入分科大學擬請　飭下學務大臣妥議辦法等語查奏定大學堂章程分列八科目前驟難全設擬先設政法科文學科格致科工科以備大學預科及各省高等學堂學生畢業後考升入學此外四科以次建置大學堂規模宜求完備合法已於奏定學務綱要內列有專條自應照章興築以免臨時貽誤又原奏內稱大學八科需地甚廣遍查內城南城以內均無空曠合用之地惟廣甯門外瓦窰有地一所德勝門〻有地一所廣輪之數均合程度等語臣等查德勝門外及瓦窰地方均在郊外必須俟禾稼收穫之後丈量始能明晰旋於九十月間迭次派員前往分別丈量勘得德勝門外舊有操場一大段東西相距四百八十丈南北相距四百一十四丈比之瓦窰地方寬廣幾多一倍此項操場向爲武舉會試操練弓馬之地武試既停此地久歸閒曠臣等擬懇　聖恩將德勝門外操場地方賞給大學堂先辦四科將來添設別科亦有地可用其瓦窰地方則留以專辦農科查農科需地較廣萬不能與各科並設一處日本農科亦係另設該地宜於種植以之專辦農科亦屬相宜至辦理此項工程非熟悉學堂規制者不能建造合法臣等一再斟酌查有候選道朱啓鈐守潔才優於建築之學確有心得該員現在天津當差直隸督臣袁世凱派令承辦局所各工但此項大學堂工程尤關緊要無人監修惟有仰懇　飭下袁世凱即飭該員來京籌辦責令一手經理必能款不虛糜建造合法約計工程非逾兩年不能竣事需用專款擬在學務處實存項下竭力籌撥至工程竣後開辦大學分科所需常年經費再由臣等預商各省督撫通籌辦法以規久遠所有遵　旨議覆先建大學堂四科妥籌辦法並懇　恩賞給操場地方各緣由謹附片奏陳伏乞　聖鑒謹　奏奉　旨著照所請該衙門知道欽此

中外要聞

●江省交涉　黑龍江將軍電達外部謂該省魚業林木鹽產數被俄人攘奪及出口稅物亦託辭盤查硬行截留省民難與理爭恐釀成重大交涉特希大部速示辦法聞外部據電照會俄公使並電覆黑龍江將軍迅速整頓各項公司稅口均派兵保守貫將軍自應詰責俄員約束該國匪類云云

●德使自陳厚誼　德國欽差昨至外部與那聯兩堂會晤探問中俄議約日期又謂本大臣閱各項新聞紙言貴國伊犂庫倫等處兵力單微募兵訓練復又欵項無着本大臣夙欽中德邦交篤誼願代貴國籌辦軍費兩堂答以多蒙貴大臣如此好意須奏請後再行商議德使又云請貴大臣至使館議會那中堂答以本署京察大典現正無暇俟過期再向貴館謝步云云

●俄使要求　俄公使日前至外部會晤要求由俄界達伊犂並由恰克圖達庫倫修築鐵路實爲兩國便通商務並云貴國此時無論如何駁拒將來中俄開議亦必當允照所請云云

●法使專函　昨外部可靠消息法欽使專函詢問張家口開放日期又謂庫倫開放需款法國願爲帮助等語

●警部訂立章程　官場人云巡警章程雖奏呈御覽內中添續章程尚多昨聞徐尚書調查金吾事例及各部院則例凡有關於緝捕衛生路政房稅等例均擬補入巡警章程辦理聞近日正調查房錢庫冊各案云

●直督調員　聞直督袁宮保奏爲時局日艱辦理交涉需員孔亟茲有直隸試用道蔡匯滄品端學粹心細才長向在南洋辦理通商交涉于洋務夙稱練達該員已交軍機處存記請將該員調往北洋以資臂助云云

●註銷合同　聞外務部因蘇杭鐵路之合同昨已照會駐英欽使定期將草約合同註銷

●籌伊犂軍費　政府議擬伊犂以邊防吃緊前已添練新軍而苦于欵項維艱現聞奏請　諭旨飭令外省督撫設法籌措接濟以爲愼重邊防起見昨聞有　廷寄鄂粵會同南洋各大臣量力撥欵協助云

●直隸奏改良州縣事宜　近聞袁宮保會將各州縣所管之事分爲四股擬派四員任事一曰學務一曰財政一曰裁判一日警察現已奉　旨交政務處吏部議奏

雜報

●商部要電　聞商部日前電致皖撫誠果帥現聞有礦商楊錫琛等請採廣德州𥕢猪洞梁家山礦產與上海之神私訂合同等語是否實有其事着令該州速即查明稟覆如果違背應照礦章第十四條議罰毋稍玩延有乖礦政云

●萬國演說會開會之盛狀　本會於日昨在火神廟開演由發起人魏牧師先請會正司令長官與倉君演說一次復由美國領事并中外會員各演一番其副會正魁陞氏所演如左

今日爲營口萬國演說會開會之期中外同志諸公咸集甚盛事也自通商以來津滬閩廣等處得風氣之先凡能開通風氣輸入文明如演說閱報等事罔不次第舉行然或成于衆人或成于一國無所謂萬國也東三省地處偏隅向來安于固陋雖經通商而與全球似無甚關係自甲午庚子癸卯三大役後遂爲全球所注目況內外遼河舟行稱便東西鐵路陸運咸宜近又開放口岸若干處將來水陸出入此爲最要之樞紐惟風氣不開其他無論即如商務工務等業尙瞠乎人後今旅居營口諸同志同心組織共設萬國演說會暫借此處開會演說一以輸入文明開通風氣爲宗旨凡我同志各具天職凡天文輿地各學說士農工商各義務聲光化電各新理既結國民之團體不妨各言所長各宣所知庶幾風氣大開天職各盡團體彌結則由營口而奉天而吉林而黑龍江一道同風日新月異漸進文明日形發達由三省而廿二行省直使中國如一人五州如一家永保和平方爲盡我萬國演說會之義務也願與同志諸公共勉之

●會水落後漸漲　本埠羌帖與滬上會水日前漲落無常已載本報聞此二宗又漸回漲滬上會水前夕落至壹百零五兩一時出主甚多即回漲至壹百拾參兩羌帖落至八錢壹分五厘而收主頗廣遂回漲至八錢二分三厘時已更鼓初鳴乃散市矣昨日行情仍未變動他處會水近日如常天津加色貳百三十五兩北京加色一百五十五兩瀋陽加色壹百五十五兩寬城子加色壹百七十兩吉林省會加色壹百六拾五兩向錦州會寶銀壹錠加色拾參兩五錢云

叢談

●大話　有一人貧無所有而好充闊老雇僕一人一夜有偷兒伏於隔壁將以行竊也忽聞其主呼僕曰將我的帳子掛起僕曰甚麼帳子主人曰白的僕曰黑的且不見那有白的主人曰長的僕曰短的且不見那有長的主人曰有細繫的僕曰無細繫的且不見那有有細繫的恍惚似主人以手指一物示之僕曰哦哦是了是了主人又曰將我的枕頭拿出來僕又曰甚麼枕頭主人曰高的僕曰矮的且不見那有高的主人曰方的僕曰圓的且不見那有方的主人曰硬的僕曰軟的且不見那有硬的主人又手指一物示之僕又曰哦哦是了是了主人又曰將我的被窩鋪起僕又目灼灼視之曰甚麼被窩主人曰寬的僕曰窄的且不見那有寬的主人曰厚的僕曰薄的且不見那有厚的主人曰直的僕曰橫的且不見那有直的主人又指一物示之僕又曰哦哦是了是了旋又聞主人曰今夜天寒待將靴子穿起皮袍著起汝去睡罷既而終夜聞主人侍聲偷兒不敢動天既明聞堂耶一聲僕急起呼曰老爺靴子打爛了又聞其主人徐起曰將枕頭放在階簷下被窩豎還門楞上又聞問還有帳子沒有僕曰帳子燒完了又問還有皮袍沒有僕曰吃完人連靴子都打爛了偷兒聞之大奇不解所謂徐察之乃知所謂帳子者蚊烟也枕頭者階磚也被窩者門板也靴子者舊酒罈也皮袍者水酒也空空一屋一無所有偷兒歎曰據我昨夜所聞誰知都是大話乃是一箇再心大老官也

NEWCHWANG, WEDNESDAY, JAN. 17, 1906.

Owing to the limited space at our disposal we publish only the following gist of the Japan-China Treaty ratified at Tokyo on the 6th. inst.

The Principal Text consists of 2 articles.

Art. I.—The Chinese government consents to all the concessions made by Russia to Japan in Arts. V. and VI. of the Peace Treaty between Japan and Russia.

Art. II.—The Japanese government consents to observe to the best of its ability the provisions in the existing treaties between China and Russia on the subjects of land-leasing and railway construction. All questions that may arise in future on the subjects shall be settled in consultation with the Chinese government.

The Auxiliary Text is comprised of 12 articles.

Art. I.—The Chinese government promises to open, on her own initiative, the following cities in Manchuria to foreign trade and residence, at an early date, after the withdrawal of the Japanese and the Russian troops. Tsitsihar, Hailar, Aihun (愛琿), Manchur (滿洲里), Kwanchengtse, Kirin, Harbin, Ningutao (寧古塔), Hunchun (渾春), Sansheng (三姓), Fengwangcheng (鳳凰城), Liaoyang, Hsinmintun, Tieling, Tungchiangtse (通江子), and Fakumen.

Art. II.—The Chinese government has expressed its anxious desire of securing the earliest evacuation of Manchuria by the Japanese and the Russian troops and also railway guards. Out of respect to this desire, the Japanese government consents to follow exactly Russia's example on the matter, in case Russia agrees to withdraw her railway guard, or if some other expedient course is agreed thereon between China and Russia. When order is restored in Manchuria and China is able to fully protect the life and property of foreigners therein, Japan, in conjunction with Russia, will withdraw her railway guards.

Art. III.—The Japanese government will communicate to the Chinese government, as soon as evacuation has been effected in one locality. China may dispatch her troops to such locality, if deemed necessary for the maintenance of peace and order. In case those sections which have not been evacuated are infested with bandits, the local Chinese authorities may also send troops for the removal of the bandits, as far as 20 Chinese *li* from the patrolling limits of the Japanese troops yet stationed.

Art. IV.—The Japanese government agrees to restore to the Chinese government and people at the time of evacuation such public or private property in Manchuria as has been taken charge of under military necessity. Such as has ceased to be any longer in need may be returned even before evacuation.

Art. V.—The Chinese government binds itself to take requisite measures for the good preservation of the graves of the Japanese killed and the places where monuments are erected to their memory, in Manchuria.

Art. VI.—The Chinese government gives its consent to the Japanese government, on retaining the continued management of the military railway laid between Antung and Mukden for the transportation of goods handled in international commerce and industry, for the period of 15 years, dating from the completion of improvements on the line (2 years being allowed for completing the improvements and 12 months besides for the evacuation purposes) and expiring in the 49th. year of Kuang Su (光緒). On the expiry of the period, the Japanese government shall sell to the Chinese government the railway with its accessories, for a price to be agreed upon between an alien appraiser appointed for the purpose by each government. In case, before the expiry of the term, Chinese troops, arms, ammunition, and supplies are to be transported by the railway, the agreements in the Chinese Eastern Railway Treaty shall be applied. As to the plans of improvements to be introduced, they shall be discussed by the representatives of the two governments. Matters in connection with the railway, as stipulated also in the Chinese Eastern Railway Treaty, are open to the inspection of the Commissioners appointed by the Chinese government. The rates of transportation to be imposed upon Chinese goods shall be governed by a set of regulations to be further formulated.

營口旅館料理店案内(いろは順)

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

旅館 千代田旅館 永世街甲八十七號 店主 高橋きみ

料理 沖の島 永世街十八號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號(電話五一) 店主 麻田久二

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主片山小みつ(電話一四五番)

旅館 彌生館 永世街百六十七號

料理 やよひ 永世街百六十七號 店主 宮下只七郎

料理 滿月 平野町百八十二號(電話一六二) 店主 青木勝惠

料理 滿洲樓 西北街二百五十二號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

料理 松迺家 元神廟街 矢野洋行向ひ 店主 山本壽三郎

旅館料理 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

旅館 大和館 永世街六號 店主 前田九一郎

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 松月亭 營口元神廟街第一四三

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

和洋御料理 第二東京館 元神廟街 東京一流 かき飯 店主 松田平四郎

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團提

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

營口永世街 營口印字局

◎フレノロジー 頭腦を觀察して身の上はんだんをなす 營口豊濟門街廿三號 李後氏宅の西半町 利生堂

喜久洋行

●白米 ●糯白米 ●石炭 ●木炭 ●干魚 ●鹽魚 ●建築用材木 ●洋釘 ●亞鉛板

卸小賣致候間御用の節は電話又は端書にて御通知次第直に持参可仕候也

營口永世街八十號 喜久洋行(電話百五十二番)

福

大連揚汽車便 最新着

●清酒 白鶴

●北海道産 玉葱

其他雜貨色々

元神廟街 田中洋行

稲正宗

▲稲正宗ハ灘御影町河東本家ノ釀造ナリ

▲稲正宗ハ營口盛進商行ノ特約酒ナリ

▲京印醬油 ▲木材

白毛布 毛滿團 旅行鞄 帽子類 筆墨紙 罐詰類

酒保品一切

盛進商行

東洋醫院

竹村旅館ノ側ヨリ河岸ニ通ズル横町ノ中央角(永世街十八号)

午前宅診 午后往診 入院隨時

山田長

御旅館 天津 芙蓉館

駐屯軍御用 並西洋料理

(電話四十一番)

奉天日本旅館 瀋陽館

家屋宏壯清潔 接待優遇懇切

開放全時=開業 奉天小西門外大街路北

加藤洋行 (S K)

酒保諸君急告

幣店儀今回酒保品全部相片付け度特別大見切賣致す可く候に付至急御來店の上御相談被下度願上候也

●麒麟正宗 ●諸罐詰類 ●巻紙、狀袋 ●菓子、砂糖

其他諸雜貨一切取揃へ誠實を旨とし精々勉强仕る可く候間多少に拘らす御用命被下度奉願上候

S. KATO & Co.
Hongname "Chah Tung."
Yingkow, Telephone No. 80.
Main Store.
Japanese Concession, Tientsin,
General Store-keeper & Commission merchant

酒 菊正宗新着!! 營口明覽年定價にて差上ます

祝新年 雜貨商 加藤洋行(營口電話八十番)

本店 營口 天津日租界 大阪

支店 北京

出張所 遼陽

為替相場(一月十六日)

日本向 軍票百圓に付金九十五圓五十錢

上海は 百圓に付六十七兩二錢五分

天津向 は百圓に付一百〇八五圓五十錢

營口は 天津と同直段

日本品最近物價表 加藤洋行調査

菊正宗 三斗九舛入 銀二十圓

麒麟正宗 四斗四舛入 同十七圓

公正宗 瓶詰四打入 同十五圓

鮨 ラツキヨ 四打入 同十三圓

辛子漬 五打 同十四圓五十錢

フキ 四打 同九圓五十錢

燥 全 同八圓

煉ミルク 全 同十四圓

石炭(飯塚工程局)

上等塊炭 一噸ニ付 銀十八圓

切込 全 十七圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙